

長時間自己学習で、学校成績と模擬試験の偏差値を大幅に向上させ、希望校合格を果たそう

開倫塾
塾長 林明夫

Q. 学力とは何ですか。

A. (1) 「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」、「主体的に学ぶ力」と考えます。開倫塾では、学力を「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」と「定義」しています。

(2) 学校のテストでよい点数を取って校内順位を上げるため、模擬試験でよい点数を取り偏差値を上げて希望校への合格を果たすために一番確実な方法は、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」という意味での「学力」を「身に着ける」ことです。

Q. ではどのようにして、この夏に開倫塾で「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」という意味での「学力」を「身に着け」て、2学期の定期テストでよい点数を取り、校内順位を大幅に上げたらよいのでしょうか。夏休み明けの模擬試験の偏差値を大幅に上げ、希望校への合格を果たすにはどうしたらよいのでしょうか。

A. 「ハードな長時間自己学習」をすることをお勧めします。

Q. 「ハード」とはどういう意味ですか。

A. (1) 「ハード」とは、「かなり厳しい」という意味です。

(2) 「部活動と同じくらい厳しい」とお考えください。

(3) まずは「校内のチームでレギュラーに選ばれる」、次に「地区大会」や「県大会」、さらには「関東大会」への出場を目指す。「ハード(厳しさ)」とは、このような「部活動と全く同じくらいの厳しさ」です。

(4) 目標が高ければ高いほど、練習はハードになり、厳しくなります。勉強、特に、受験勉強と部活動はこの点で全く同じです。なまじの練習では、地区大会、県大会、まして関東大会には出場すらできません。そこでよい成績を取ることはできません。

(5) 部活動と同じ熱心さで、勉強、特に受験勉強に打ち込んでください。「これは部活動だ」と思って、勉強、特に受験勉強に励んでくださいね。

Q. 「長時間」とはどのような意味ですか。

A. 「長時間」とは、「長い時間」、「朝から晩まで」、「生活に必要な時間を除き朝起きてから夜寝るまで」、「四六時中」という意味です。

Q. なぜ「長時間」なのですか。

A. (1) 入学試験には、学校で学ぶ内容のすべてが出題されます。まだ学習していない範囲も含めて出題されます。簡単な基本問題だけでなく、かなり難しい応用問題も出題されます。

(2) 中学校入試には小学校 6 年間で学ぶすべてが出題されます。高校入試には中学校 3 年間で学ぶすべてが出題されます。大学入試には高校 3 年間で学ぶすべてが出題されます。

(3) 例えば、高校 3 年生でも、中学 1 年生の英語がわからなかったら、中学 1 年生の英語の参考書から「学び直し」をしなければなりません。中学 3 年生で、小学生の漢字が書けなければ、小学 1 年生の漢字書き取りから「学び直し」をしなければなりません。自分の現在の各科目の成績の状況を素直に認め、よくできないところまで遡って、そこから徹底的に「学び直し」をする。これが短期間での成績急上昇のポイントです。偏差値急上昇のポイントです。

(4) よくできないところまで遡って徹底的に「学び直し」をするだけで、短期間で、例えば夏休みの 30 日間で偏差値は 5 ~ 10 一気に上昇します。ただし、「学び直し」には長い時間がかかります。「長時間」が必要です。「朝から晩まで」、どころではなく、「朝から深夜、夜 12 時ごろまで」かかります。

Q. 「自己学習」とはどのような意味ですか。

A. 「自己学習」とは、「自分から進んで学ぶこと」、「主体的に学ぶこと」という意味です。「先生や保護者から勉強するようにといわれたからやる」「あまり気が進まないが、先生や保護者から怒られるのが嫌だからやる」、このようなことではとても「ハード」な「長時間」「自己学習」はできません。「自分から進んで学ぶ」「主体的に学ぶ」ことが「ハード」で「長時間」の学習の絶対条件です。また、何のために勉強するのか、勉強してどうしたいのかという勉強の目的、学ぶ目的をはっきりさせることが大切です。そのうえで、自分の立場をはっきりさせ、「自覚をもって学ぶこと」が大切です。「自覚」をもつことができれば、「ハード」な「長時間」「自己学習」はいくらでもできます。

Q. どうしたら「自覚」をもって学ぶことができますか。

A. (1)

- ①何のために学ぶのか
- ②何のために進学をするのか
- ③進学をして何をしたいのか
- ④学校を卒業してどのような生き方をしたいのか
- ④どのような仕事に就き、社会に対してどのような貢献をしたいのか
- ⑤「よく生きるとは何か」

(2) 自分の

- ①強み、長所、どんどん伸ばすべきところは何か
- ②少しづつでも克服すべき点は何か

(3) 今、自分の置かれている立場は何か。このようなことを自分の力で考えることが、「自覚」

をもって学ぶことにつながります。ゆっくりでいいですから、自分の人生とは何か、「よく生きる」とは何かをぜひお考えください。

Q. では、いつから、また、どこで「ハードな長時間自己学習」をしたらよいのでしょうか。

A. (1) 「いつから」の答えは、「今でしょう」です。

(2) 「どこで」の答えは、「どこでも」です。自宅や学校をはじめ、勉強できる場所では「どこでも」勉強してください。

(3) 開倫塾では、塾生に限り、希望者には空いている机と椅子（いす）を使って「ハードな長時間自己学習」の機会を提供しています。費用は一切無料です。大いに勉強に励んでください。

(4) ただし、保護者の署名・捺印のある「長時間自己学習申請書」の提出と、開倫塾の校長の許可が必要です。

(5)

- ①指定された机・いすを使用する
- ②おしゃべりは一切しない
- ③決められた時間以外食事はしない
- ④食べ物や飲み物は机の上に置かないで、カバンの中にしまっておく
- ④ごみはすべて自宅に持ち帰る
- ⑤自己学習時間は先生方の勤務時間内に限る
- ⑥夜 10 時 30 分以降は絶対禁止

その他、開倫塾での長時間自己学習のルールを必ず守ること。部活動と同じように、ルールの中でのプレイをお願いいたします。

Q. 最後に一言どうぞ。

A. (1) 勉強、特に、予習・復習と受験勉強に遠慮は一切不要です。誰に遠慮することなく、自由自在に、また、思うままにやれるだけやってください。

(2) 勉強は、自分との闘いです。他人は一切関係がありません。今までの学校の成績や模擬試験の偏差値も、一切関係がありません。自己責任、自助努力、自分の未来は自分で切り開く、あきらめたらおしまい。この考え方で勉強を行えば、学校の試験の成績、学校での順位、模擬試験の偏差値はいくらでも上がります。

(3) 「練習は不可能を可能にする」ということばがあります。「自覚」をもち「ハードな長時間自己学習」を行うことは、「不可能を可能」にします。開倫塾を活用して「自覚」をもって「ハードな長時間自己学習」を行ってくださいね。

頑張ってください。

2015 年 7 月 12 日（日）11 時 47 分